

一般質問

路の歩道の整備や放課後対策のための児童館の対応等、平成26年4月開校に向け万全な整備を行ってまいります。

教育委員長

複式学級等で勉強している児童等の心理的ケアには、十分配慮してまいります。また、ランドセルや教材等の統一も大切な視点です。きめ細かに対応し、楽しく学べ、遊べる学校づくりを心がけてまいります。

質問 膨大な借金を抱えての財政運営は誰が運営しても大変なことです。市長が掲げている財政の健全化をどう進めていくのか、また市民も豊かになり市の財政も安定するような方策等、真剣に考える時期と思います。例えば遊休資産の有効活用等について市長の考えを伺います。

市長

厳しい財政状況での合併ですが、総合計画、新市建設計画、行財政改革を柱に乗り越えなければなりません。またそのために予算を重点的に配分することが必要と考えます。合併後10年間の交付税措置の中で積立金の充実も考えています。空き校舎等遊休資産の有効活用の提案については、今いろいろ模索している現状です。市民の皆さまとの協力と理解を得ながら真剣に考えてまいります。

○ 幼児教育の充実について
○ 労働安全衛生管理規程について



たかはし まさひろ
高橋 政一

質問 今年度の私立幼稚園への運営補助額と来年度の増額予定について伺います。また公立・私立幼稚園とも、子どもの発達のためには同じように介助員の配置が必要ではないか伺います。

教育委員長

私立幼稚園への運営費補助は市内10園に対し、昨年度と同じ351万円を交付する予定になっています。平成23年度の運営費補助については、増額する方向で財政局と協議をしています。私立幼稚園では支援が必要な園児に対しては、県の特別支援教育補助金を活用していると捉えています。また、そのほかにも支援が必要な場合も考えられることから、市としても支援のあり方を検討していきます。

質問 市職員労働安全衛生委員会の開催状況と、医師による面接指導が行われたのか伺います。また、県費負担教職員の労働安全衛生規程制定の基本的考え方と実施時期

について伺います。

について伺います。

市長 平成22年度については、すべての部署で安全衛生委員会を開催しています。1カ月に時間外勤務100時間を超えて、産業医による面接指導を受けた者は、平成21・22年度各1名おります。健康状態は問題ないですが、職場の支援体制が必要との指摘を受けています。

教育委員長

学校等において安全と健康確保、職場・学校環境の形成に必要な事項を定めるものです。来年の4月実施を考えています。

○ 政策判断で生じた国保会計の借入金への対応について



おおいかわ よし たか
及川 善男

質問 市長は来年度から国民健康保険税の引き上げを計画していますが、国保会計が危機的状況になった原因について伺います。医療費の高騰もありますが、前市政下で、合併後各区ごとに格差のあった不均一課税を延長したことや、税等の調整のための交付金約23億円を活用し、繰り入れをしな

かったこと。そして何よりも国庫負担率が引き下げられてきたことだと思えます。これらの政策判断で生じた6億3000万円の借入金、納税者に負担させず、一般会計からの繰り入れを行うべきと考えます。また、所得200万円以下の納税者が80%以上います。納税者の負担能力に応じた税体系にするために、資産税割の廃止、均等割（人数割）、平等割（世帯割）の引き上げはやめるべきと考えますが市長の考えを伺います。

市長 平成20年度に国保財政計画を策定してきましたが、計画以上に伸びた医療費や、離職者の国保加入による被保険者の増加等により保険給付費が想定以上に膨らみ、非常に厳しい状況にあります。今後の運営については、住民の声を聞く会でいただいた市民や議会の意見を聞きながら検討を重ねてまいります。

質問 道路は多少不便でも、回り道すれば代替は可能ですが、介護の悩みは待ったなしです。とりわけ特養ホームの不足解消に取り組む考え方について伺います。

市長 特養ホームに入所できない方がいることは喫緊の課題と考えており、第4期計画で特養ホーム等224床の整備を進めます。